

●学校支援情報●

岡崎むかし館通信

<http://www.city.okazaki.lg.jp/libra/803/p014017.html>

郷土学習のヒントとなる情報を発信します。



平成27年6月に堤通手永御田扇祭り、山方手永御田扇祭りが、新たに市指定無形民俗文化財に指定され、さらに、7月には善立寺(祐金町)の本堂、七面堂、玄関、山門が国登録有形文化財(建造物)に登録されました。まだまだ、市内には大切に伝承したいモノがたくさんあります。ぜひ、地域の再発見を！

地域の再発見

野本先生のフィールドノートメモ

地域を歩く—御田扇祭りに参加して—



山方手永＝現岡崎市12箇所・幸田町1箇所で構成

【岡崎市:井内、下和田、国正、正名、定国、中村、坂左右、野畑、若松、針崎、柱、羽根/幸田町:永野】※祭りに関わる旧来からのマチを表す。



堤通手永＝現岡崎市16箇所・西尾市4箇所で構成

【岡崎市:中之郷、上青野、高橋、上合欽木、下合欽木、安藤、福桶、下三ツ木、上三ツ木、下青野、在家、土井、牧御堂、法性寺、宮地、赤洪/西尾市:高落、新村、西浅井、東浅井】

注1)手永:行政区画であり、各手永には大庄屋が配置される。水野忠善が岡崎藩主時代に導入。「手の届く範囲」との意味も込められているという伝承がある。

注2)後本多家:1601～1645年に岡崎藩主であった本多家(康重系統:前本多家)と区別するため、1769～1871年に藩主であった本多家(忠勝を祖とする)を表す。

今回は、6月30日付で岡崎市無形民俗文化財に指定された御田扇祭りについて、この祭りの地域にもたらず意味と教材としての可能性をお伝えしたいと思います。

御田扇祭りとは、岡崎藩の大庄屋制度である手永(注1)制のもと、藩領である六つの手永単位で行われた祭礼・行事です。

御田扇祭りの初見は、今のところ宝暦年間(1751～1764年)と思われる、手永から手永へ神輿が引き継がれていく形式で斎行されていました。これが御田扇祭りの起源とは言えませんが、現在受け継がれている祭礼・行事の基本形は、この時期に岡崎藩領の中で行われていたこととなります。後本多家(注2)時代(1769～1871年)には、各手永内で完結する型へと変容します。そして、明治に到り、現在のような型となっていました。

江戸期の史料を見ますと、祭りの時期は6月初旬(旧暦)で、稲が虫害にならないように、神輿の中に伊勢神宮から請けてきた「扇」と「鍬形」を御神体として移し、隣ムラまで送っていったようです。虫

地域の再発見 (地域を歩く-御田扇祭りに参加して- つづき)

送りの意味があったのでしょうか。そして、手永に属しているムラを18日間ぐらいで廻ったとされています。

この江戸期より続く祭りを通し「ふるさと」を見直し、以下の視点で教材化が考えられます。

1. 現在もマチ総出で、20年(堤通手永)に1回、13年(山方手永)に1回、神輿を請け、次の年に隣マチへ送るといふ儀礼を、継続していることの意味と価値を、子ども達に考えさせる。
2. 御田扇祭りには、岡崎藩、藩主、大庄屋、手永などの藩の体制と庶民の暮らし、伊勢信仰、伊勢御師などが関わり、この祭りが在地に根付いてきた経緯が伺われる。歴史教材として、色々な視点から教材化が可能。

最後に御田扇祭りは、旧岡崎藩にしか見ることが出来ない特殊祭礼・行事であると評価できるものです。例年7月の日曜日に、それぞれの手永地域で実施されます。来年については、堤通手永は下合歓木から高落(西尾市)へ送り、山方手永は柱から羽根へ送ります。是非、足を運び実見してみてください。自分の眼で確かめなければ、追究は始まりません。【N】



扇(御神体)



鍬形(御神体)

むかし館の活動より

むかし館講座「岡崎風土記」について

今年度から、野本主任専門員の民俗調査活動で得た様々な事例の紹介を通して、岡崎の魅力を再確認してもらう講座を、一般向けに開催しています。今年度のテーマは「祭り」で、6月の講座では、御田扇祭りも取り上げました。毎回、多くの方に参加いただいています。講座ではりぶらの施設特性を活かし、中央図書館所蔵の関連図書も紹介しています。御田扇祭りに関する図書もありますので、ぜひ御利用下さい。

むかし館通信vol.4でも「御田扇祭り」を紹介しています。
バックナンバーは、ホームページ (<http://www.city.okazaki.lg.jp/libra/803/p015436.html>)に掲載中！

●編集/発行(隔月) 岡崎市立中央図書館・企画班 平成27年9月
〒444-0059 岡崎市康生通西4-71 tel.23-3167 / fax.23-3165

開催中 【企画展「岡崎の和ろうそく」 ～ 9/15】

次回展示 【展示「岡崎ストーリー あの頃:レオオープン」 9/17 ～ 12/15】

平成27年度【社会科学研究作品展】10/3(土)～10/13(火) りぶらギャラリー 最終日は17:00まで
【社会科学研究発表会】10/10(土) りぶら会議室103 10:00-11:30